

市民との意見交換会（井戸端スタイル）意見等一覧

		開催日	令和5年11月8日（水）	開催場所	柏原自治会館
		意見交換したテーマ	1. かいばら一番館の活用について 2. 行政ゾーンについて 3. 観光施策について		
NO	所管委員会	意見交換の内容			
		項目	市民からの質疑（応答）及び意見		
以下のご意見については、その場で回答済、あるいは各議員に周知しました。					
1	民生産建	観光	商業・観光ユニティプランには、おばあちゃんの里の事ばかりが書いてあり、柏原の事はほとんどない。織田まつり等のイベントで柏原にどれだけの誘客があったのかや、この秋にどれぐらいの観光バスが来町しているのかなど入込の状況を市観光課は、把握しているのか。		
2	民生産建	観光	秋の季節に限定される丹波三宝のだけでは弱い。黒豆、大納言小豆、栗の技術的加工による特産品の開発を農業振興課は、促進すべきではないか。		
3	民生産建	観光	丹波市観光活性化支援補助金の補助率を増加させてほしい。		
4	民生産建	観光	丹波市の観光ユニティプランは、何をを目指しているのか分からない。もっと積極的な観光施策を具体的に打ち出す必要があるのではないか。		
5	民生産建	観光	丹波市観光課で丹波市独自の紙製観光バッグや包装紙を製作することはできないか。		
6	総務文教	その他	各自治会公民館の建設に係る補助金は、増額できないか。		
7	総務文教	その他	丹波市と姉妹都市を結んでいるオーバン市やケント市との交流事業にもっともっと市も積極的に関わりを持ち経済交流に協力を願いたい。		
8	総務文教	その他	柏原崇広館の再建に向けて再建する会を立ち上げ動き出そうとしている。格別の理解をいただき支援してほしい。		
以下のご意見については、市長へ市民の方からのご要望として伝達をしました。					
9	総務文教	かいばら一番館	市役所柏原支所が住民センターに移転後2年間柏原支所活用協議会を設立し旧柏原支所を柏原一番館として開放してきた。現在自治協議会で展示に関して開設し開放されているがほとんど閉まっており街の灯が消えた状態である。もう一度旧柏原支所を行政財産として戻すことはできないのか。		
10	総務文教	かいばら一番館	地域としては、柏原一番館を柏原自治協議会が受け皿となって運営することが良いと思うが、なかなか課題が多い。行政財産として行政と地域が半々で運営することはできないか。		
11	総務文教	かいばら一番館	柏原住民センター内にある柏原支所の面積と人員は、労働安全上の基準規則に適合しているのか。		
12	民生産建	観光	柏原に訪れる観光客が増加している中秋の一定期間だけでも一番館を開けることは、できないか。		
13	総務文教	行政ゾーン	柏原は、国や県の行政機関が集まる行政ゾーンである。柏原のしかる場所に市の庁舎を設置することが良いのではないか。単独でなくても統合庁舎としても考えられるが。		
14	総務文教	行政ゾーン	丹波市の都市計画からは、町のビジョンが見えてこない。もっとコンパクトシティとして集約化を進めるべきではないか。		
15	総務文教	行政ゾーン	丹波市は、柏原一番館や日赤跡地活用について現在進められている兵庫県の駅南遊休地を中心とした活用計画の動向を見ているとのことだが、丹波市独自の活用計画は無いのか。無策ではダメだ。市としての明確な活用計画を県に提案し、総合的に進めることが必要。		
16	総務文教	行政ゾーン	丹波市も県にいろいろと提案や要望し、強く働きかけていかないと一体的なまちづくりに結びつかない。		
17	民生産建	観光	商業・観光ユニティプランの冊子ができたがその冊子は、どこに配布されているのか。柏原観光まちづくりの会には、届いていない。観光振興をしている各地域団体にそれぞれ届けるべきではないか。市の観光施策が周知され、それぞれの地域で集客支援事業をすべきと考えるが。		
18	民生産建	観光	お城サミットなど全国的なイベントに職員が参加して広く丹波市の観光を宣伝することが今後も必要だと考える。		